

土木事業

Civil Engineering



新宮紀宝道路熊野川河口大橋P4-P6上部工事/三重県南牟婁郡紀宝町

会社と社会を支える
屋台骨であり続ける

社会インフラを支える土木事業では、トンネル、ダム、港湾、高速道路、空港、エネルギー関連など、多様な大型インフラ整備を手がけています。技術開発やDXの活用、省力化・省人化も進めながら、高品質・高付加価値な施工を通じて、社会の多様なインフラニーズに応え続けています。今後も豊富な経験と技術力を活かし、より一層の事業拡大を目指します。



とうふく ただひこ
東福 忠彦
前田建設工業株式会社
専務執行役員 土木事業本部長

土木事業では、柔軟な現場対応力と風通しの良い組織風土を強みに、既存事業の競争力を高めるとともに、新たな市場・分野への展開を推進しています。働き方改革や技能労働者の不足といった社会課題に対応しながら、生産性の向上を追求し、業界トップクラスの収益性を維持しています。

インフロンニアグループの一員として、付加価値の最大化と持続的な企業価値の向上を目指すとともに、技術革新や人材育成にも注力し、さらなる成長基盤の強化に取り組んでまいります。

SWOT分析

Strength 強み

- 高度な技術力と豊富な施工実績
- 三現主義(現場・現物・現実)の徹底による優れた現場対応力
- 原価管理のDX化による高い収益性

Weakness 弱み

- 単身赴任や転勤の多さに伴うワークライフバランスの課題
- 技術者の高齢化と技術・経験の継承の停滞
- 人手不足と高齢化による施工力の低下リスク

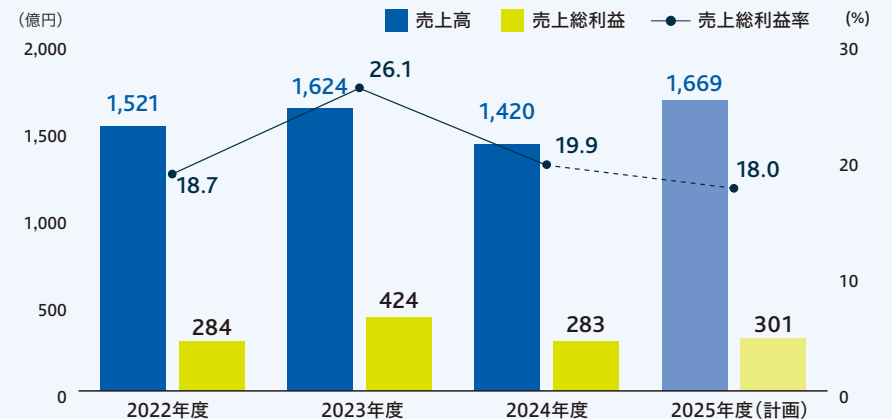
Opportunity 機会

- 国土強靱化及び老朽インフラ更新への継続的な投資
- 再生可能エネルギー分野への投資拡大
- 防衛力強化に伴う関連施設整備の需要拡大

Threat 脅威

- 建設資材及びエネルギー価格の高騰
- 労災や品質トラブルによる企業信用の毀損リスク
- 世界情勢の不安定化に伴う景気後退リスク

業績の推移



Medium-term Vision 2027 実現に向けて

> 脱請負思考での新規領域の開拓

土木事業は、従来の「施工」領域にとどまらず、事業領域を拡大しています。その一例が、バングラデシュで唯一となるシールドセグメントを製造する法人の設立です。同国初の地下鉄建設プロジェクトにおいて、請負による施工は行わず、高品質なシールドセグメントを供給することで、事業へ参画する予定です※1。

また、PFAS(有機フッ素化合物)対策にも早期から取り組み、メタウォーター株式会社と共同開発した吸着処理システム「De-POP's ION®」※2を実用化しました。今後は官公庁に加え、民間施設への展開も視野に入れています。

さらに、埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故は、インフラの維持管理と更新の重要性を改めて社会に示す契機となりました。前田建設は、「総合インフラサービス企業」であるインフロニアグループの一員として、施工に加え、運営・維持管理・更新を含めたライフサイクル全体を視野に取り組みを進めていきます。

> 生産性改革(付加価値の最大化)

働き方改革や技能労働者不足といった構造的課題の解決

に向け、当社は持続可能な施工体制の構築を推進しています。その一環として、現場職員の業務負担を軽減するため、ベトナム現地スタッフによる業務の外部委託を進めています。また、協力会社の次世代リーダーの育成に向けた教育支援や、共同での技術開発にも取り組んでいます※3。

さらに、収益力向上を図るべく、設計変更の的確な反映や原価管理のDX化を進め、逸失利益の最小化と獲得利益の最大化に取り組んでいます。

> 企業体質改善に向けた取り組み

重大災害や品質トラブルの未然防止に向け、過去の災害・トラブル事例の共有や不具合防止策について、施工検討会や社内HPを通じた情報発信を強化しています。特に年次研修では、当事者による実体験の紹介を取り入れ、参加者が自らの業務に置き換えて考える機会を設けています。

また、社員の満足度向上を目的に、単身赴任の削減やワークライフバランスの推進、自己キャリア形成を支援する「マッチング会議」を実施。残業時間の上限規制にも対応し、本支店一体での労働時間管理を徹底することで、安心して働ける職場環境の整備を進めています。



※1 バングラデシュ現地法人
MJF Infrastructure Service Co.,Ltd.のメンバー



※2 PFAS 浄化装置設置状況



※3 協力会社との橋梁床版下H鋼表面切削における共同技術開発の様子

社員の声



こが たいし
古賀 大志

前田建設工業株式会社
九州支店 九電夜明作業所 課長

グループの総合力で水力発電所を刷新

前田建設に入社後、施工管理及び土木設計業務を経験し、現在は大部分県日田市で進行中の水力発電所総合更新工事に従事しています。本工事は、約70年前に建設された発電設備を対象とした大規模なリニューアルプロジェクトです。導水路トンネルの補強工事では、当社と前田製作所が共同で技術開発したパネルライニング台車を採用し、省力化と施工の効率化を実現しました。今後とも、前田建設単独の力にとどまらず、インフロニアグループ全体の技術力を結集し、課題解決力の向上につなげていきたいと考えています。